

〇〇 〇〇議員 様

2017年 月 日

日頃の活動に敬意を表します。

私は、貴職が今国会に提出されている「日印原子力協定」の承認案に反対されることを要望します。

日本は、唯一の戦争被爆国として「核廃絶と不拡散へ向けた国民の努力」を基本方針としてきましたが、本協定はこれに逆行するものです。

インドは核拡散防止条約（NPT）に未締約でありながら、2度も核実験を強行した国です。本協定を承認することは、日本がインドを事実上の第6の核兵器国として承認することになってしまいます。本協定が発効することにより、インドは原発も核兵器も増産することが可能となり、南アジア地域での核軍拡競争の激化を引き起こすことは明白です。さらに、本協定は日本と他国との協定とは異なり、インドに使用済み核燃料の再処理とウラン濃縮なども認める一方、再核実験時の協力停止条項は明確ではありません。

現在、原発メーカーである東芝、日立は、経営不振から原発輸出策見直しに踏み込まざるを得ない状態となっています。そして、台湾の脱原発宣言、ベトナムの原発輸入中止決定など世界における脱原発の流れは止めることはできない事態に立ち至っています。

福島原発事故後の「原子力緊急事態」が続く日本が、原発輸出を推進することは、人類の社会正義に反する行為です。だからこそ、インドの原発建設予定地の住民たちは、「日本は原発事故を輸出するな！」と叫び続けているのです。

このようなことから、貴職が日印原子力協力協定承認案に反対することを強く訴えます。

署名

---